

【ステップ1:火山の情報】

説明

ふんかけいほう
噴火警報とは

気象庁は、人の命にかかわるような噴火がおきそうな時や、おきた時は、すぐに噴火警報を発表します。噴火警報には、どこでどんな危険があるのかを示してあります。

市町村では、噴火警報をもとに、山に入ることを禁止するなど、登山者や火山のまわりに住む人たちが被害にあわないよう準備します。場合によっては、すぐに避難をよびかけることもあります。



コラム

噴火の予知はできるのでしょうか

前もって火山がいつ噴火するかどうかを知る(予知)のは大変難しく、いつ、どこで噴火するかなど、わからないことが多いです。ただし、昔から繰り返かえして噴火している火山では、噴火の前ぶれかもしれない観測データが現れることがあります。気象庁ではいろいろな観測機器を使って、毎日24時間休むことなく火山を監視しています。

【ステップ1:火山の情報】

説明

 ふんかそくほう
 噴火速報とは

もし火山が噴火した場合、気象庁はそれをいち早く伝えるため、^{ふんかそくほう}噴火速報を発表します。

^{ふんかそくほう}噴火速報はテレビやラジオ、スマートフォンなどで知ることができます。

火山の噴火に気がついた時や^{ふんかそくほう}噴火速報が発表された時は一刻も早く、下山する、^{ひなんごや}避難小屋や、シェルターに逃げる、^{いわかげ}近くの岩陰にかくれるなどしてください。

^{ふんかそくほう}噴火速報などの情報を待っている間には間にあわない場合もあります。もし火山で^{じなけわり}地鳴りや煙などの異常に気がいたら、^{いっしょ}一緒に行っている大人の人に聞いてすぐに^{ひなん}避難し、地元の役場や警察などに連絡しましょう。



^{けわり}煙が見える（^{ふんえん}噴煙）



^{じな}地鳴りが聞こえる（^{めいどう}地下からの鳴動）



^{にお}臭いがする（火山ガス）



【ステップ2:噴火にそなえる】

説明

ふだんの^{そな}備え

火山^{さいがい}災害にはいろいろな種類があり、私たちが住んでいる町にまで^{えいきょう}影響があるかもしれないものもあります。火口から^{かこう}離れているからといって安全とはかぎらないのです。

いざという時に^{ひなん}避難するためには、火山のまわりのどこが^き危険^{けん}なのかをふだんから知っておく必要があります。

✓ 火山ハザードマップ

火山が噴火した時に、どの地域まで、どんな^{きけん}危険がおよぶかを表した地図です。火山のどこが^{きけん}危険なのかは、火山ハザードマップで確認します。市町村のホームページなどで入手できます。

✓ ^{ひなんじ}避難時の^{じゅんび}持ち物を準備

頭を守るヘルメットや、火山灰^{かざんばい}をふせぐためのマスクやゴーグル、^{かさ}傘^{じゅんび}などを準備しておきましょう。座^ざ布団^{ぶとん}や、タオルもかわりになります。



【ステップ2:噴火にそなえる】

説明

火山に行く時の^{そな}え

火山の噴火から身を守るために一番大切なことは、噴火がおきる前に安全な場所に避難^{ひなん}することですが、ふだんはおとなしい火山でも、前ふれもなくいきなり噴火することもあります。

✓ 火山の^{じょうきょう}状況を確かめておく

火山の^{じょうきょう}状況について、最新の情報を確かめてから行きましょう。火山の情報は、テレビやラジオ、気象庁ホームページの「火山登山者^{かざん とざん しゃ}向けの^{じょうほうていきょう}情報提供ページ」から手に入れることができます。



✓ もし噴火したときにどうするか確かめておく

避難^{ひなん}小屋^{ごや}や避難^{ひなん}ルート、噴火がおきた時にどうするか(シェルターや大きな岩^{かけ}の陰にかくれる)を確認しておきましょう。
また、噴火速報^{ふんかそくほう}をすぐに入手できるように、スマートフォン、ラジオやそれらの^{よび}予備^{でんち}電池を持っていきましょう。

1

ふだんの^{そな}備え

火山の近いところは、ふだんからどのようなことを^{じゅんび}準備しておけばいいでしょうか。①～③から選んでください。

- ① 火口に近づかなければ^{きけん}危険はないので特に^{そな}備えることはない
- ② 火山に^{いじょう}異常がなくても、なるべく家から出ない
- ③ ハザードマップを参考に、^{きけん}危険な場所を確かめておく



^{ひなん}避難する時に必要なものをそろえておくことも必要です。

2

火山に行くときの^{そな}備え

明日は火山に登山の予定です。どんなことを^{じゅんび}準備すればよいですか。

- ① 気象庁のホームページで（ ）を確認める。
- ② もし噴火した時にどうやって（ ）を確認する。
- ③ （ ）などを用意する。



一緒にいく大人の人と相談して、行ってもよいかどうか決めましょう。

3

噴火警報

噴火警報が発表されると、私たちにはどんな影響が出るでしょうか。間違っているものを①～③から選んでください。

- ① 住んでいるところから必ず避難する必要がある
- ② 登山ができなくなることがある
- ③ 通れない道路がでてくる



噴火警報が出たからといって、すぐに火山のまわりすべてが危険ということではありません。避難が必要な範囲をよく確かめましょう。

4

噴火速報

火山で噴火速報を聞いたなら、どのように行動すればいいでしょうか。①～③から選んでください。

- ① これから山に登るなら、火口に遠いのでまだ登れる
- ② 大人の人に聞いて、すぐに下山したり、大きな岩の陰にかくれる
- ③ 内容をよく確かめるため、30分はその場にとどまる



噴火してしまったら、とても危険な状態です。たとえば噴石は猛スピードですぐに降ってきます。

5 まとめ

火山はひとたび噴火すると、おそろしい被害をおよぼすことがあります。そして噴火を止めることはできません。

もし噴火がおこった時のためにふだんから準備をして、いざという時は、すぐに避難することが大切です。

- ✓ 火山ハザードマップを見て、自分の住んでいるところにどんな危険があるのか確かめましょう
- ✓ 避難するときのために必要なものを準備しましょう
- ✓ 情報を集めて、いま火山がどんな状態なのかを知っておきましょう
- ✓ いざという時、どう避難したらいいか考えておきましょう



なにごとにも準備が大切です。

「ぼるけん」

桜島で有名な鹿児島地方気象台のマスコットキャラクターです。